

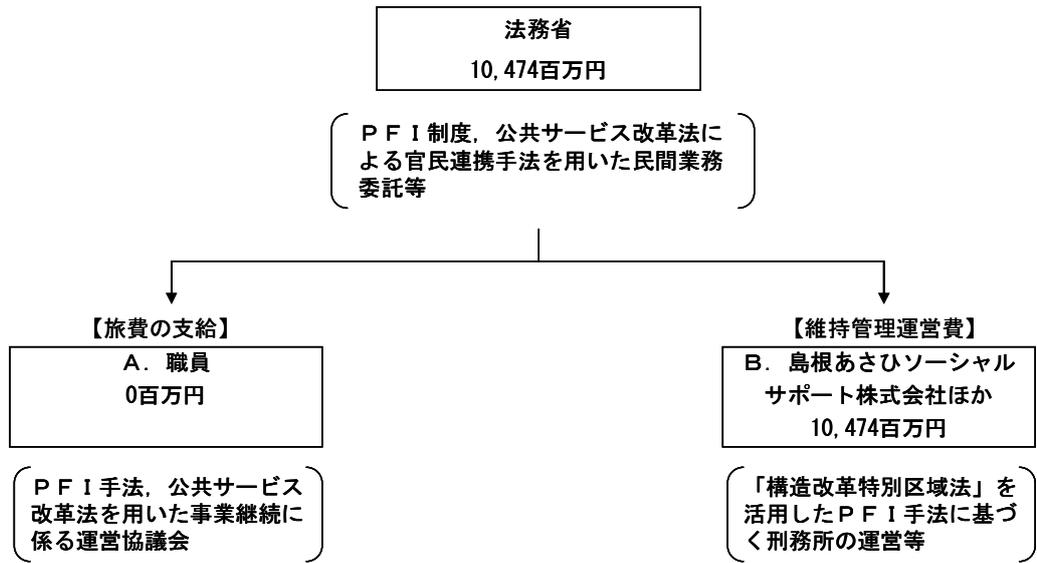
平成23年行政事業レビューシート

(法務省)

事業名	PFI 刑務所の運営	担当部局庁	法務省矯正局	作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度	-	担当課室	総務課	総務課長 富山 聡			
会計区分	一般会計	施策名	矯正施設の適正な運営に必要な民間開放の推進				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	民間資金等の活用による公共施設等の整備等の促進に関する法律 簡素で効率的な政府を実現するための行政改革の推進に関する法律第48条第1項	関係する計画、通知等					
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	刑事施設の過剰収容と職員の過重負担の緩和を目指し、新たな刑事施設の整備をする必要が生じたため、行政コスト削減や国民に開かれた刑事施設の運営を目指し、PFI手法を活用した官民協働による刑事施設の運営を行うことを目的としている。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	施設の設計・建設・維持管理及び被収容者の処遇に係る事業について、PFI手法を活用し、美称社会復帰促進センター(平成19年4月運営開始、事業期間20年)、島根あさひ社会復帰促進センター(平成20年10月運営開始、事業期間20年)を整備した。 また、国費をもって刑事施設の設計・建設を行った上、建設後の施設の維持管理及び被収容者の処遇に係る事業について、PFI手法を活用し、喜連川社会復帰促進センター、播磨社会復帰促進センター(いずれも平成19年10月運営開始、事業期間15年)の運営を開始した。 なお、これらの契約は国庫債務負担行為で長期契約を実施している。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
	予算の状況	当初予算	8,504	10,474	10,474	10,912	11,419
		補正予算	0	0	0	-	-
		繰越し等	0	0	0	-	-
		計	8,504	10,474	10,474	10,912	11,419
		執行額	8,504	10,474	10,474	-	-
	執行率(%)	100.0%	100.0%	100.0%	-	-	
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	20年度	21年度	22年度	目標値(年度)
	民間のノウハウを活用し、受刑者が社会復帰後の就労に役立つ知識・技能を習得するための職業訓練を実施するとともに、資格取得を実現させる(資格取得試験受験者数) 民間の企画立案に基づき実施しているものであり、定量的な成果目標を示すことはできない	成果実績	人	480	1,295	1,536	-
		達成度	%	-	-	-	-
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	PFI手法を活用した官民協働による刑事施設の運営を図っている	活動実績(当初見込み)	施設	4施設	4施設	4施設	-
			施設	4施設	4施設	(4施設)	(4施設)
単位当たりコスト	(円/)	算出根拠 事業期間15年から20年の長期継続事業であり、民間のノウハウを活用した改善指導、矯正教育、職業訓練等を実施しているものであることから、個別の業務についてコスト分析することは困難である					
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由			
	外部委託	10,912	11,419	業務拡大に伴う見直しによる増			
	計	10,912	11,419				

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	-	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ・費目・使途	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	-	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績・成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	-	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>民間の資金・ノウハウ等を活用したいいわゆるPFI手法により刑事施設の維持管理・運営事業を実施しているPFI施設については、それぞれ運営開始から3年ないしは4年経過したところであるが、おおむね円滑に運営されている。</p> <p>これらのPFI手法を活用した刑事施設においては、教育プログラムでは、反犯罪性思考プログラムなどの心理療法を採り入れた教育を実施しているほか、職業訓練においては、各種技術・資格の取得等を実施しているなど、民間のノウハウを活用することによって国費の節減だけでなく多様な矯正処遇を実施することが可能となっている。</p> <p>なお、このようなPFI手法を活用した刑事施設の運営については、構造改革特別区域法により地域が限定されていたところ、委託業務がおおむね適切に実施されていることなどから、平成21年5月、全国の刑事施設においても運営業務の幅広い民間委託を可能とする「構造改革特別区域法及び競争の導入による公共サービスの改革に関する法律の一部を改正する法律」が施行され、平成22年度からは黒羽刑務所、静岡刑務所及び笠松刑務所において、それぞれ「刑事施設の民間委託運営」事業として民間委託が実施されている。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
現状どおり	国庫債務負担行為による長期契約のため縮減は困難であると思われるが、適正な執行に努めること。		
	上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)		
-	国庫債務負担行為による長期継続事業であるところ、所見のとおり、今後も適正な執行に努める。		
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
平成21年度決算検査報告において、意見を表示し又は処置を要求した事項として、「食材費については予定収容人員に基づく額を事業費に含めて支払うのではなく、実際の収容人員に応じた支払にすべきである」との是正措置要求を受けたことを踏まえ、PFI刑務所への受刑者の移送を促進すべく、計画的にその移送を実施しているほか、収容人員の実績に見合った食材費の支払方法に契約を変更すべく、民間事業者側と協議しているところである。			

※平成22年度実績を記入



資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	個人A	事業継続に係る運営協議会の開催	0.1	-	-
2	個人B	事業継続に係る運営協議会の開催	0.0	-	-
3	個人C	事業継続に係る運営協議会の開催	0.0	-	-
4	個人D	事業継続に係る運営協議会の開催	0.0	-	-
5	個人E	事業継続に係る運営協議会の開催	0.0	-	-
6	個人F	事業継続に係る運営協議会の開催	0.0	-	-
7	個人G	事業継続に係る運営協議会の開催	0.0	-	-
8	個人H	事業継続に係る運営協議会の開催	0.0	-	-
9	個人I	事業継続に係る運営協議会の開催	0.0	-	-
10	-	-	-	-	-

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	島根あさひソーシャルサポート株式会社	「構造改革特別区域法」を活用したPFI手法に基づく刑務所の運営	3,940	-	-
2	社会復帰サポート喜連川株式会社	「構造改革特別区域法」を活用したPFI手法に基づく刑務所の運営	2,668	-	-
3	社会復帰サポート美祢株式会社	「構造改革特別区域法」を活用したPFI手法に基づく刑務所の運営	2,164	-	-
4	播磨ソーシャルサポート株式会社	「構造改革特別区域法」を活用したPFI手法に基づく刑務所の運営	1,702	-	-
5	-	-	-	-	-
6	-	-	-	-	-
7	-	-	-	-	-
8	-	-	-	-	-
9	-	-	-	-	-
10	-	-	-	-	-